

第4学年 国語科学習指導案

学 年 4学年 男14名 女7名 計21名
指導者 佐藤 修

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」
「四年三組から発信します」

- 2 単元について

- (1) 児童について

児童は、三年生上「ありの行列」、下「すがたを変える大豆」では、問題提起、答えにあたる部分を読むことや、接続語に注意して一つの段落ごとにそれぞれ一つの事柄が書かれていることを読む学習を行い、四年生上「かむことの力」では、段落毎に要点をまとめること、段落のつながりを考えることや、他教材との比べ読みの学習活動をもとに説明的文章の文章構成の特徴をとらえる学習を行ってきた。

児童は、説明的文章の学習への関心が高い子や、読み取ったことをもとに意欲的に発言しようとする子が多い。論理的に思考し、大事なことを落とさずに読み取る子も見られる。しかし事前テストの結果から、要点をまとめる力や、段落構成を把握する力が十分身に付いているとは言えない子が多いということが明らかになった。また、サイドラインを引いたり書き込みをしたりする力や、読み取ったことを文章表現する力には大きな個人差が見られる。

- (2) 教材について

本単元における「読むこと」の主な指導事項は、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」(読むことイ)である。

教材「アップとルーズで伝える」は、テレビや新聞などを通して私たちに届けられる映像や写真が、送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであることを、「アップ」と「ルーズ」の映像技法をもとに読者に伝える説明文である。

本教材の文章は、「始め(問題提起)」「中(説明)」「終わり(まとめ)」という典型的な説明文の構成で書かれている。「始め」の部分では、アップとルーズの画面の特徴を紹介しながらそれぞれの定義を述べ、問題を提起している。「中」の部分では、アップとルーズの長所と短所を対比的に説明している。「終わり」では、送り手がアップとルーズをどのように使い分けているかということについてまとめている。

本教材は、キーワード、要点の把握、段落構成をとらえる学習に適している。また、児童がアップとルーズの映像技法について身近に感じられる内容であるとともに、自らが発信者としての学習につなげることにも適した教材である。

- (3) 指導について

単元の「つかむ」では、スポーツ中継の映像や新聞記事を見せたり、「アップとルーズで伝える」の学習を生かして自らが発信者となる学習をするという見通しをもたせたりして、学習の意欲化を図る。

「深める」では中心となる語や文をとらえるために、毎時間中心文を見つけ、要点文をまとめる。どの子もその能力が身に付くよう、支援を工夫したい。また、段落構成をとらえるために要点文や接続語・文末表現をもとに、グループで文章構成図を作らせたい。さらに、新聞に掲載された写真を対比する活動を行い、筆者の考えを確かめるとともに、自ら発信する学習につなげる。

「広げる」では、「四年三組から発信します」の学習において、グループで情報の収集、選択、発信を体験させる。その際、「アップとルーズで伝える」で学んだことを活用し、全校の子ども達に見てもらおうという目的意識を持たせながら表現の仕方を工夫させたい。

(4) 家庭学習と授業とのつながりについて

つかむ	・漢字練習 ・語句調べ
深める	・授業作文 ・音読（予習・復習） ・次時に学ぶ段落をノートに視写・書き込み
広げる	・音読（まとめの読み） ・関連図書の読書

3 単元目標

(1) 関心・意欲・態度の目標

伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分が表現していくときに役立てていこうとしている。

(2) 能力の目標

◎アップとルーズのそれぞれの特徴について、中心となる語や文を的確にとらえ、段落相互の関係を考えながら文章を読むことができる。(読むことイ)

○相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。(書くことイ)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する目標

文脈に沿って指示語や接続語の役割を理解し、使うことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ク)

4 単元の指導・評価計画（18時間）

過時 程	学習活動(指導内容)	評価規準		
		国語への関心・意欲 ・態度	読む能力 書く能力	言語について の知識・理解・技能
つ か む	1 ・アップとルーズに関わる映像や新聞記事を見る。 ・学習の見通しをもつ。全文を読み、段落番号をつける。	単元の学習の見通しをもち、進んで教材文を読もうとしている。		段落番号を正しくつけている。
	1 ・初発の感想を書き、疑問をもとに問題作りをする。 ・新出漢字、語句を学ぶ。	内容の大体をつかみ、感想や問題文を書こうとしている。	内容の大体をつかみ、感想や問題文を書いている。	新出漢字を読み、正しく書くことができる。
	1 ・初発の感想と自分で考えた問題文を発表し、学習計画を立てる。	進んで感想や問題文を発表し、学習の見通しをもっている。		
深 め る	1 ・1～3段落を読み、それぞれの内容をまとめる。	内容に興味をもち、中心文を見つけ、要点をまとめようとしている。	アップとルーズの画面の説明と問題提示について中心となる語や文をとらえ、要点を短くまとめている。	指示語、接続語の役割を正しくとらえている。
	1 ・4～6段落を読み、それぞれの内容をまとめる。	内容に興味を持ち、中心文を見つけ、要点をまとめようとしている。	アップとルーズの長所・短所について、中心となる語や文をとらえ、要点を短くまとめている。	指示語、接続語の役割を正しくとらえている。

深 め	1	・ 7～8 段落を読み、それぞれの内容をまとめる。 筆者の伝えたいことをとらえる。	内容に興味を持ち、中心文を見つけ、要点をまとめようとしている。	問いに対する答えについて中心となる語や文をとらえ、要点を短くまとめている。	指示語、接続語の役割を正しくとらえている。
	1	・ 各段落に小見出しをつけ、段落のまとまりを考えて大見出しをつける。	各段落の小見出し、まとまりごとの大見出しをつけようとしている。	各段落の小見出しを正しくつけている。	文章全体の構成を考えてまとめている。
	1	・ 段落構成を図にまとめる。	段落のつながりを図に表そうとしている。	文章構成図を自力でまとめている。	文章全体の構成を考えてまとめている。
本 時	1	・ 新聞に掲載された二枚の写真を比べたり、見出しをもとに写真材料の選び方を選んだりする。	新聞記事の写真や見出しについて自分の考えを書こうとしている。	筆者の伝えたいことや、材料の選び方について理解している。	記事の表現の仕方の違いに気づいている。
	2	・ 「四年三組から発信します」を読み、活動の見通しを持つ。 ・ 教科書作例の工夫をとらえる。 ・ 題材について話し合い、自分たちのまとめかたのイメージをもつ。	学習内容に興味をもち、グループの話し合いに積極的に参加しようとしている。	教科書作例の工夫や良さをとらえている。 (以下、書く能力)	
広 げ る	3	・ 取り上げる題材を決め、取材する。 ・ 集めた材料を選び、整理する。	友達の意見も取り入れながら意欲的に作業している。	相手や意図に応じて写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。	表現したり理解したりするために辞書を利用している。
	1	・ 構成を考え、組み立て表を作る。	読み手を意識して組み立てを考えようとしている。	段落相互の関係などに注意して文章を構成している。	
	2	・ 下書きをする。 ・ 清書する。	段落を意識して文章を書こうとしている。	目的や必要に応じて書いている。	指示語や接続語を正しく使って文章を書いている。
	1	・ 単元の学習を振り返る。 ・ 互いに読み合う。 ・ まとめの感想を書く。	単元で学んだことを振り返り、感想を書こうとしている。	書き手の写真や表現の良さなどについて意見を述べている。	

6 本時の指導

(1) ねらい

新聞に掲載された2枚の写真を比べたり、見出しをもとに写真を選んだりする活動を通して、筆者の伝えたいことや、材料の選び方を理解することができる。

(2) 展開

	学習内容・学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の働きかけ「主発問」 ○評価(評価方法) ●家庭学習を生かした働きかけ
つ か む 5 分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>新聞の写真をもとに、材料の選び方を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●前時までの授業作文を紹介し、前時想起・学習意欲を高めることにつなげる。 ・意欲的に学習できるように資料について想起するとともに、本時の学習の見通しを持たせる。
深 め る 3 7 分	<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 2枚の写真を見比べ、それぞれの特徴を話し合う。 【広げる学び合い(全体)】</p> <p>(2) 2つの新聞記事の写真や見出しをもとに、新聞記者が何を伝えたかったのか話し合う。 【一人学び】 【広げる学び合い(ペア～全体)】</p> <p>(3) 見出しをもとに、多くの写真(材料)の中からどの写真を選べば良いか話し合う。 【一人学び】 【収束する学び合い(グループ～全体)】</p> <p>(4) 実際の新聞社はどのような意図で写真を選んだか学ぶ。 【収束する学び合い】</p>	<p>「2枚の写真を比べて似ているところとちがう所を発表しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2枚の写真の共通点・相違点を話し合わせるとともに、人物の表情の違いに気づかせる。 <p>「新聞記者は、この写真でどんなことを読者に伝えたかったのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の特徴をもとに、送り手が材料を選ぶ意図をとらえることができる。 <p>「この見出しについての写真を選びます。どの写真を選べばいいか、考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠をもとに発表させる。 ・要旨をしっかりととらえることができるように、常にまとめの段落に立ち返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞社に取材したことをもとに、多くの写真の中からどんな意図で選材したのか理解させる。

	<p>4 解決したことをまとめる。 【一人学び】</p>	<p>〈具体の評価基準〉</p> <p>A 新聞は、送り手の目的や意図によって、写真を選んだり、見出しをつけたりしていることについての確に理解している。</p> <p>B 新聞は、送り手の目的や意図によって、写真を選んでいることを理解している。</p> <p>C 八段落に注目させるとともに、板書をもとにまとめるよう助言する。</p>
<p>ま と め る 3 分</p>	<p>5 学習のまとめ（自己評価）をする。</p> <p>6 次時の学習内容を確認し、家庭学習の見通しをもたせる。</p>	<p>・本時学んだことを確かめ、満足感・達成感をもたせるとともに、次の学習の意欲をもたせる。</p> <p>○写真の選び方を理解し、次時の学習への意欲を持つことができたか。（プリント、観察）</p> <p>●次時からグループで新聞作りをする学習を行うこと、家庭学習で授業作文を書くことを伝える。</p>

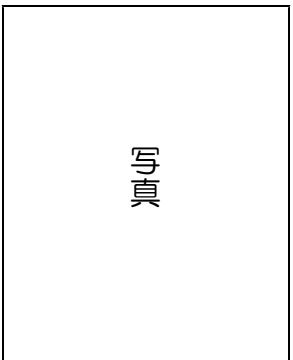
アップとルーズで伝える

中谷 日出

新聞の写真をもとに、材料の選び方を考えよう。

新聞で伝える方法く 見出し 写真

アップ



選手が笑っている
選手の様子がよく分かる
選手がうつっている

ピンチなのに笑顔で励まし合う選手の様子を伝えたい。

ルーズ



お客さんが喜んでいる
お客さんの様子がよく分かる
お客さんがうつっている

試合に勝って喜びをお客さんの様子を伝えたい。

受け手の知りたいこと

見出し 写真

送りが伝えたいこと

新聞は、受け手が何を知りたいか、送りが伝えたいことは何かを考えて、見出しを書いたり、写真を選んだりしている。